

パブリックコメントで提出された意見

お寄せいただいた意見のみを公表するものです。

※意見に対する市の考え方並びに計画等の案を修正した際の修正の内容及び理由は、まとまり次第公表します。

計画等の名称：つくば中心市街地まちづくりビジョン(案)

No.	パブリックコメントで提出された意見(原文)
1	<p>つくば中心市街地まちづくりビジョン(案)</p> <p>センター広場で、毎週末ライブやトークショーが開かれたりすると、中心部に賑わいがでてくるのではないのでしょうか。川崎駅のラゾーナ川崎プラザみたいなイメージです。</p> <p>https://www.google.co.jp/search?q=%E3%83%A9%E3%82%BE%E3%83%BC%E3%83%8A%E5%B7%9D%E5%B4%8E+%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%96&tbm=isch</p> <p>その周りに、「まつりつくば」の縮小版みたいな感じで屋台が出たりして、みんながライブやトークショーを「借景」にしてくつろげる、時間を過ごせる空間になったらいいと思います。その出し物に「つくばらしさ」があるとよいと思います。</p> <p>まつりつくばの賑わいは、あのエリアのポテンシャルを物語っています。人の流れや滞留ができれば、クレオにもテナントが入ることでしょう。今の寂しい状況では、テナントも手が出せないと思います。</p> <p>そのためには、センター広場で恒常的に出し物がだせるような設え(手続きの簡素化や企画&とりまとめ主体など)を市がリーダーシップをとって進めていく必要があると思います。出来高制の外部委託でも良いと思います。</p> <p>また、つくば市はクルマ社会ですから、周辺部の駐車スペースの確保も重要だと思います。クレオ横の駐車場は、車両の大型化についていけないので、スペース的にも構造的にも止めにくなっています。せめて、駐車スペースのラインの引き直しは必要でしょう。また、駐車料金の見直しも必要と思います。現状では、長時間中心部に滞在しづらい料金設定だと思います。</p>

2	<p>30-01 つくば中心市街地まちづくりヴィジョン(案)</p> <p>世界のあしたが見える街を拝見しました。とてもワクワクしました。 4年前に東京都中央区勝どきから転居してとても住みやすさを感じています。 ここで、3つの柱を挙げられていたので具体的にこうなればいいなをイメージしてみました。</p> <p>リラックス × 遊び心 ・研究学園地区に 図書館、または交流センター(図書の受け取り可能な場所を) お願いしたいです。</p> <p>なぜなら、一番近い場所でも春日交流センターなのでもっと近くに欲しいです。 気軽に親子でここで本を読みたいです。 調理室で季節のお料理やお味噌作り、また郷土料理の共有などを楽しみたいです。 企画することも可能です！私はお味噌作りが得意だしお友達はベトナム料理がとても上手です。交流センターを上手に使え、またアピールできます！ ピアノもあれば、気軽にセッションの練習ができます！！</p> <p>科学技術の恩恵 × 新たな価値の創発 現在、月一回現代アーティストの「しゅんさくの部屋」のしゅんさく先生を東京からお招きして2歳から年齢問わない移動型のアートスポットをつくばの自然とコラボして学園の杜公園をつくば市役所さんの公園施設課の方に許可を頂いて開催しております。 主に、幼稚園児から小学低学年の子供メインで活動しているのですが、子供の創造性を自然の中で解放する気持ちの良い体験をもっと他の人に知ってもらいたい、また科学とのコラボでアートがどう変化していくのか、興味があります。</p> <p>ローカル × 持続可能性 ・太陽のマルシェのようなオシャレなマルシェを誘致して欲しい つくばはとても美味しいお野菜があつたりハチミツが美味しかったり、パンがとても魅力的なのがアピール仕切れて無いと思います。 例えばですが、勝どきのマンションに住んでいるときは月に1回オシャレな太陽のマルシェはとても魅力的でした。 そこでは、ワークショップもあつたりして美味しいドライトマトやナッツが買えてオシャレな手作り小物が販売されとても楽しかったです！ 毎月同じ業者さんもいて楽しいのですが、初めて出会うお店も楽しくインスタ映え</p>
---	---

	<p>のするマルシェでとても楽しかったです。研究学園の駅前公園は立地もとても良いのでぜひ開催してもらって、ここでしゅんさくの部屋など行うともっとたくさんの人の目に触れてもらってみんなでアートも出来るのにな・・・と思いました。</p> <p>ぜひご検討よろしくお願いします。</p>
3	<p>先日、いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会、ゲームメーカーやメディア関係などで構成する「“eスポーツ in IBARAKI”実行委員会」と日本eスポーツ連合(JeSU)は2019年秋に「都道府県対抗eスポーツ大会」を開催すると発表がありました。</p> <p>また、プレイベントとして今年9月に、つくば国際会議場で開催も予定しており、益々、eスポーツの注目度は高まっています。</p> <p>競技人口は全世界で1億人以上ともされていて、2024年パリオリンピック種目としての採用を目指す動きも始まっています。</p> <p>そこで、eスポーツをやるには、大規模な施設、インフラ(交通・通信)などが必要です。</p> <p>そこで、私の提案意見としては、西武、イオン跡地を改修して、全国に先駆けて大規模なeスポーツのアリーナにしたらどうかと考えています。</p> <p>駅チカで若者が集まりやすい、また、科学技術都市として注目されているつくば、G20のデジタル会合でもさらさらに世界中から注目されると思います。</p> <p>今後の持続可能なビジネス、そして雇用創出、人口増加を考えると、“eスポーツ”をキーワードとした中心市街地のまちづくりビジョンとしては、私は、更なるつくばの発展に可能性を感じています。</p> <p>どうぞよろしくおねがいします。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の再生ビジョンを考えるとといっても、3要素だけの提示では、あまりにシンプル過ぎてコメントに困る。 ・なぜ、このようなビジョン提示に至ったかの説明や、今後出された意見をどのように活かすかの考え方を、簡単でも示す必要があるのではないか。 ・山崎氏の言われるビジョニングは、有効な方法で充分行ってほしいと思うが、西武クレオ跡地については、費用がかかっても力のある商業コンサルに、実質の活用提案、事業者選定・交渉も含めて行ってもらう必要があると考えます。すでに行っていると思うが、このことは市民参加と同時に、確実に進めてほしいと考えます。
5	<p>■あくまでも『ビジョン』に対するパブリックコメントとして、『ビジョン』を踏まえた具体的計画が別途策定されるものと想定し、『ビジョン』についての意見を申し述べ</p>

	<p>ます。</p> <p>■とはいうものの『中心市街地』の区域は明示する必要があるのではないのでしょうか。どこまでの範囲をこのビジョンに基づいてまちづくりが行われるのでしょうか。ビジョンとはいえ、空間的な領域を明示すべきではないかと考えます。</p> <p>■今回提示されたビジョンでは、都市のビジョンと中心市街地のビジョンを混同されているのではないのでしょうか。中心市街地に重要な役割はありますが、都市のすべてではなく、あくまでも都市の一部に過ぎません。都市全体のビジョンとの関係や、その他のまちづくり計画・都市計画との整合・関係性はどのように考えられているのでしょうか。</p> <p>■ビジョンを描くにあたっては、中心市街地に居住する方のライフスタイル、周辺市街地に居住する方のライフスタイル、その他集落部に居住する方のライフスタイル、つくばの外から来訪される方、それぞれにおいて、中心市街地がどのような位置づけになっているのか整理をした上でビジョンを設定する必要があると思います。</p> <p>中心市街地がどの範囲であるかが判りませんが、中心市街地に居住する方にとっては毎日の、周辺市街地やその他集落部に居住する方にとっては週末に限定したまちになります。また来街者にとっては生活とは離れた特別のまちとなります。</p> <p>ビジョンにおいては、平日の姿、普段の休日の姿、特別なイベントの姿などがイメージできる整理が必要と考えます。</p> <p>■ビジョンをどのようなプロセスを経て具体化・実現化するのか、ビジョンから目標達成に至る流れを示すべきかと考えます。</p> <p>■ビジョン達成の目標年次はいつ頃と考えられているのでしょうか。</p>
6	<p>1. 全体について 「世界のあしたが見える」の意味が曖昧。 何がどう見えるのか、ヴィジョンの中に説明がない。 「日本初！エコシティ」など、つくばらしさがほしい。</p> <p>2. リラックス×遊び心について 「観光」に相当する前提で、インパクトが必要。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「買い物」の文 ショッピングの牽引は若者なので、それを前面に。 →若者のモードを発信するショッピングストリート ・「サードプレイス」 汎用語ではない。言い換えが必要。 ・「一日中…」の文 これだけ2行にわたるのはおかしい。一行にまとめる。 ・「プレイスメイキング」 汎用語ではない。言い換えが必要。 ・入り込み客も歩いて回れることを入れるのがよい。 <p>3. 科学技術×新たな価値について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知的刺激」 ローカルの4番目の項目をこちらにもってきてはどうでしょうか。 ・「スタートアップの拠点」は他市にはない、つくばの売りでgood。 ・「日常が科学教育環境」 3番目の項目との区別をより明瞭にするとよい。 →子どもも大人も科学を身近に学べるまち <p>4. ローカル×持続可能性</p> <p>つくばならではの売りが見えてこない。 環境対策と生活の関わりに関する項目を入れてはどうでしょうか。 →エコフレンドリーで豊かな生活ができるまち</p> <p>また、ますます増える市外からの観光客を、 地元民の持続可能な生活に役立てる施策もほしいと思います。 →観光客との交流で生まれる健康で持続可能なまち</p> <p>以上です。 ご検討よろしく申し上げます。</p>
7	<p>計画全体について以下の提案をいたします。</p> <p>提案1.つながって技術を育むインキュベーションスペース(旧クレオビル内の1~2フロアに確保する)</p>

- 1) レンタル会議室＋小規模セミナースペース(空きがあれば予約不要・スマホで空き確認できるようにする)
- 2) オフィスサービスフロア(セキュアなwifi、プリンタ・コピーサービス)
- 3) 連携インキュベーション機能(ベンチャー向けレンタルオフィス・出頭者向けシェアオフィス・オープン打ち合わせスペース)
- 4) コンシェルジュ機能(つくば市内の企業や研究開発法人、大学の窓口業務代行)
- 5) 飲食スペース(下記2. の飲食スペースとフロア共有も可)(周囲の飲食店からのケータリングで小規模なパーティもできると良い)

(＋支援措置提案)

- 6) つくばセンターから市内の研究期間へのアクセス支援
 - (1) バス便検索サービス(＋オフィススペースにバス時刻表モニター表示)
 - (2) つくばバスビジネスシャトル(オフィスタイム(会議など)に合わせた市内各研究機関へのバスシャトル便(有料)の運行、つくタクサービスのビジネス客向け提供(情報周知、市外からの事前ネット予約サービス)

提案2. コンパクト・快適な都市生活のための空間構築

- 1) 市役所窓口センター機能の確保(旧クレオまたはつくばセンタービルスペース内に)→住民票や印鑑証明など、ネットで申し込んで即時受け取りできるようにする)
- 2) 図書館移転と複合施設の解説(旧クレオビル内)
図書館＋滞在型書店＋カフェスペース(蔦屋書店のイメージ＋提案1のインキュベーションスペースの4)飲食スペースとフロアを共有する。
- 3) 時間・空間を共有・消費できるパブリックスペースの確保
 - ・アイアイモール前広場のリニューアル 透明屋根を設置し、路面を芝生化
テーブルと椅子を設置しオープンカフェスペースを設ける
 - ・アイアイモールを市内の商店、飲食店が日替わり出店できるアーケード街にリニューアル、定期イベント(ファーマーズマーケット等を開催)
 - ・このスペースはペット(犬など)もルールを守って利用できるようにする。
- 4) サイクリスト支援スペースの開設(クレオビル旧イオン側スペースの活用)(ロッカー、着替え室、シャワールーム・リラクゼーションルーム＋機能はビジネス客や家族連れにも使っていただく)スポーツ自転車レンタル＋シェアサイクルステーション

	<p>提案3 歩行者優先の動線確保</p> <p>1)TXつくば駅、Qt、クレオビル間の動線改善（片方向のみのエスカレーターを双方向化する）掲示板等を設置して施設間の行き来をしやすくする。 地下鉄コンコースの有効活用</p> <p>2)Qtとバスターミナル間の道路について、バス出口方北側を閉鎖して歩道化する＋屋根付き通路を設置しQt/クレオ側とバスターミナル/Biviのアクセスを改善。（バス、タクシーは南側からのみ出入りする。）</p>
8	<p>1. 現行(案)は、つくば市の中で閉じている。これでは、市周辺地域の市民を中心に市街地に誘導することとなり、周辺地域の衰退を一層助長する。</p> <p>2. つくば中心市街地は、つくばエクスプレスのターミナルであり、つくば市の玄関口でもある。 したがって、(東京をはじめとする)つくばエクスプレス沿線の住民(消費者)を誘導し、さらには市周辺部に誘導することを考えるべきである。</p> <p>3. そこで、「つくばサイエンス・パーク」構想を提案する。 (1)西武デパート・クレオ跡に、市内にある国立研究所等の広報施設を集積し、台場にある科学未来館に匹敵する科学館とする。 (2)市周辺地域の文化・歴史・特産品などを展示して、周辺地域への誘導を図る。 (3)同様に、筑波山地域ジオパーク6市のジオサイト・産物などの紹介も行う。 (4)エキスポセンターの展示内容が古くなっており、科学技術の時代に合わせて改修する。もしくは、最新科学情報の展示を西武デパート・クレオ跡で行い、エキスポセンターは科学遺産を展示する科学歴史館とする。 (5)修学旅行の来市も見込まれよう。 (6)来客が見込まれれば、自然と、他の商業施設(飲食店・土産店)が立ち上がる。</p> <p>「中心市街地」との呼び方に違和感を覚えます。</p> <p>中心市街地機能は、既に、市役所が移転したTX「研究学園」駅周辺に移動しつつあります。 現状認識「筑波研究学園都市の核として発展を遂げてきた中心市街地は、大規</p>

	<p>模店舗の閉店、国家公務員宿舎等の廃止・売却」にあるとおり、「中心市街地」としての機能をすでに喪失しています。</p> <p>未来構想(ビジョン)では、「中心市街地」ではなく、“北条・谷田部・豊里・大穂・桜・荃崎と同レベルの吾妻地区”との観点が必要ではないでしょうか。</p> <p>市内バス交通の集結点である特殊性には留意すべきですが、バス利用者は老人・若年などの自動車運転不能者に限られると思います。</p>
9	<p>国家プロジェクトにより構築された筑波研究学園都市。その最大の脅威は、科学技術で稼げるまちが、つくば市以外となることである(例えば神奈川県への民間研究所の移転は著しい)。つくば市の大きな弱みは、市内の交通手段が主に「自家用車」であり、広域に渡るつくば市内の科学技術シーズへのアクセスが大変不便であることである。コンパクトサイエンスシティとして、魅力ある都市設計が1960年代に行われ、2.6兆円で構築されたにも関わらず、その地の利を全く活かせることができていない現状がある。</p> <p>いかなる「まち」も、そこで生活を行う全ての人々で「常につくられて」いる。そして、魅力あるまちには、まちを「つくりに行く」生活者の意識が必要不可欠である。つくば市内で生活する方々全ての、研究学園都市づくりへの意識向上こそが、つくば市を世界レベルでの魅了的なまちにする「鍵」である。</p> <p>本提案は、つくば市内で生活する人々の「まちづくり意識を高め」ながら、研究学園都市たる「つくばの地の利」を活かし、「科学技術で稼ぎ」にくための「戦略」の一つである。(資料は別紙参照)</p> <p>「科学技術で 稼げる、遊べる、学べる 世界のTSUKUBA」のご提案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SEIBUにつくばの研究集結 2. レジェンドと次世代の研究者交流の場 3. つくば市全域のちびっこハロウィン <p>お声がけいただければ、私個人として協力させて頂きたいと思っています。昨年度から市政が大きく変わり、つくば市役所職員の方々は大変お忙しいと思いますが、ご一考頂けますと幸いです。よろしくお願い致します。</p>
10	<p>5月20日のまちづくりシンポジウムの際に市長から中央公園の池でカヌー利用できるようにするという提案がありましたが、できれば池の水を抜いて外来生物がどのくらいいるか、調べていただけないでしょうか？ 最近テレビでそのような取り組みを行っている番組を見ました。</p>

	<p>以前にも池の水を抜いたことがあるそうで、その時に見ていた人から池の中に溝があったと聞きました。学園都市建設以前に利用されていた一の矢用水の位置と近いので池の中に埋もれているかもしれないと思いました。</p> <p>池を地域活性化に利用するならば、あの場所に池をつくった理由や現在の生き物など池に関する歴史や自然を調べる機会にしてください。よろしくご検討ください。</p>
11	<p>P.4 横長一枚のパンフレットにつきまして。</p> <p>「魅力と驚きが散りばめられ、訪れたいまち」 『一日中過ごせるサードプレイス(ペDESTリアンデッキ、公園、センター広場、図書館等)』</p> <p>として具体的な施設が挙げられていたことで、将来の具体的なイメージが湧くと思いました。ただ、現在の図書館の混雑と喧騒、スペース不足を考えれば、ゆったり過ごせる環境とは言えません。(どうぞ一度週末に視察してみてください)</p> <p>是非とも「別建ての図書館」が必要です。</p> <p>そこを「こども図書館」として子育て世代が気兼ねなく使える場所、子供の読書のアドバイス、ひいては子育てのヒントも得られる場所となって欲しいです。 図書館には自動貸し出し機を導入し、案内ロボットを配置するのも有りではないでしょうか？現在の蔵書はそのまま、新規の図書館のみに導入も可能と思います。</p> <p>石岡市には「こども図書館」ができ、土浦市図書館では自動貸し出し機が導入されました。小売店の店頭でPopperを目にしたこともありますし、セルフレジは当たり前になりつつあります。セグウェイのように時間限定・場所限定で使うのではなく、このように日常に組み込んで使ってこそ『科学技術が活用され、日常生活に採り入れられているまち』です。</p> <p>別建てで図書館ができれば既存の図書館にも余裕ができ、『知的刺激やアイデアを得られる場所』『オフィスやコワーキングスペース』で働く人たちに有用な情報を提供できる場となるでしょう。</p> <p>他の二つのテーマ 「科学技術が日常に溶け込み、イノベーションが生み出されるまち」「地域に根差した持続可能なまち」につながると思います。</p>

12	<p>標題:スマートシティの中核として、IT関連の高等教育機関を誘致する</p> <p>背景: 今後の5～10年には、IT,IoT,Big Data,AI、ブロックチェーンなどの展開が本格的かつ全社会的なものになることは、まちがいない。それへの人材の養成は急務である。特に日本では、これまで物作りに携わることが重視されて来たことから、IT関連には多くの優秀な人材が集まらず、この分野での人材不足が米国、インド、中国などに比較して顕著になっている。経産省の推計では、現在でも20万人の技術者が不足していると言われている。このような状況には、新しく若い人を教育するのみならず、現に働いている人の再教育や社会人の教育をもカバーする教育機関が各地に必要である。つくばには、大学や研究機関が集中しており、色々の分野でIT関連を研究している研究者などの協力が期待でき、特色のある高等教育機関を誘致できるのではと思う。また、このような教育機関とその周りに新しいイノベーション企業が活躍できる場所を提供することで、相互の協働による持続的な発展が期待できる。また、つくば市のスマートシティ構築に向けての各種の課題が、ここでの教育、開発のテーマになりうる。</p> <p>参考資料:経産省:「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」2016 IPA:「IT人材白書2017」</p> <p>具体的なイメージ(Tsukuba College of Technology)としては、 設置場所:旧西武百貨店跡地ビル 駅に近く、つくばのみならず、TX沿線や都内からの通学、通勤が可能になる。 また別フロアはイノベーション企業や児童を対象にしてプログラミング教室などに提供できる。</p> <p>機関組織:新規大学のみならず、関連大学の分校や複数のIT関連企業による設立などの可能性を追求する。それには、筑波大学や産総研のIT部門の世界的な研究者の協力やIT企業出身の大井川県知事の支援を得て、その人脈を通して行えると期待できる。</p> <p>波及効果:この教育機関に学ぶ学生、職員及び関連する企業の社員、顧客など、日常的恒常的に つくばセンター地区に人が集まる経済効果がある。また、センター地区に高等教育施設があることによって、一般市民にも開かれた講座やイベントが開催しやすく、また、つくばにある研究機関相互の連携や交流を促進させやすくなると思う。</p>
----	---

13	<p>【はじめに】筑波山は最近では多くのTV番組で取り上げられ、気軽な登山として観光客に人気を博しております。休日には筑波山シャトルの乗り場の盛況ぶりは周知の事実であります。このように筑波山登山のグートウェイとしてつくば駅の需要が高まっている中で、周辺施設への波及効果があるのか疑問も残るので、もつと観光客の皆さまに周辺施設を利用していただくための提案をさせていただきます。</p> <p>【背景】統計によると筑波山の観光入込客数は平成15年をピークに減少しております。一方、筑波山きっぷ並びに筑波山シャトル利用者は毎年増加しており、つくば駅を起点とした筑波山登山の需要が増加していることが理解できます。そのような中、つくば駅を經由して筑波山を目指す観光客の人々がつくば駅近辺の商業施設を利用しているかは、はなはだ疑問であり、商業施設内で観光客の姿をみるのが少ないのが残念です。</p> <p>【提案】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. つくば駅より筑波山シャトル乗り場への導線上に、各商業施設の存在を理解できるような仕掛けを施す。 2. 筑波山シャトル乗降口に各商業施設がよく見え、施設へ行ってみたくなるような仕様の変更を行う、例えばオープンテラス等の配置等を検討するのも効果的とおもわれます。 3. 必要に応じて筑波山シャトルの発着場を変更も考慮し、観光客の駅利用の利便性を向上させると同時に各商業施設へ利用促進を図る。 4. 商業施設内で茨城県の特産品を陳列販売にとどまることなく、ジュース類、串焼き等の軽食メニューを開発し観光客に「五感」で楽しんでいただき、特産品の購買意欲の向上を図る <p>【はじめに】つくば駅前の大規模店舗撤退後、当該施設および周辺地域の有効利用に関する提案をさせていただきます。</p> <p>【背景】つくば市は東京都中心地より直線距離で約60Kmと、同一圏内には成田市、東金市、大磯町、東松山市がありますが、つくば市はTXの開業により都心からの短時間の移動が可能で、さらに、高速道路網の整備により、成田国際、茨城各空港へアクセスが容易になり、外客の呼び込みに強みがあります。また、つくば市の魅力は「科学」が1位とアンケート結果で示されており、また1985年に開催された科学万博は県外の人々にも「科学のつくば」と記憶されておりポジティブなイメージが定着しております。</p> <p>【提案】このような背景に生かし、かつ都市の既存特性を活用して、「オリジナル」なまちづくりを目指すことが求められると考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. そこで、先端技術であり人々の関心の高い「ロボット」をコンセプトに、旧西武筑
----	---

	<p>波店、旧イオンの店舗施設を各企業による「ロボット」の完成品およびパーツの展示、販売のスペースとして賃貸することにより、B to BならびにB to Cの機会創出を図る。</p> <p>2. つくば国際会議場および周辺施設において「ロボット」に関する国際会議を開催誘致し、国内外の人々の情報発信、情報収集、討論等の「場」を創る。</p> <p>3. つくば駅周辺の既存施設等を活用し、「つくばロボット博」を開催し、若者、家族連れ、また商業目的で参集した人々に新たな「気づき」を得る機会を設ける。</p> <p>【期待効果】つくば市の都市としての「存在意義」の確立。 茨城県、近隣市町村を含めた地域活性化。 新たな雇用機会の創出 税収の増加による自立した都市づくりの可能性の増大</p>
14	<p>ビジョンに示された内容が全て実現したらどんなに素晴らしいことかと思えます。つくば駅近くに住むものとして、求めている街づくりに近いと思えます。一市民として是非応援して行きたいと思えます。</p> <p>計画の実現のためには、多くの民間の事業者さんの新たな参入が不可欠です。まずは補助制度の充実によって参入のきっかけと後押しをしていただくのは当然ですが、補助がなくても中心市街地で事業をしてみたい(競争になるくらいでなくてはなりません)と求めていただけよう、どんどん盛り上げていければと思います。</p>
15	<p>つくば駅周辺の街づくりにあたり提案します。人の動き、流れが、ほとんど列車を利用する人に限られる現在の状況を改善しなければなりません。何よりも、この中心街に人々の興味、楽しみを求める気持ちを引き付けるものを作る必要があります。活性化する為には特に若い人達や家族連れの人々の流れを作らなければなりません。しかも、当市に限らず県北や栃木他の地域からの流れも必要です。現在、駅を取り巻く店舗のどれもが市内の他のモールにもあるもので、わざわざここに来たいと思う人はいません。では、何を作るか？ 一例としてコストコが周辺地域から多くの人を集めて活況を呈しています。県西や栃木からも多くの人利用しに来ます。そんな流れを中心地にまで延ばすことを考えましょう。イケアを誘致するのはどうでしょうか？ なかなか身近にはないお店、でも、つくばに行けばある、だから緑の多いつくばの公園で遊ぶついでにイケアやコストコに行こう、と若いファミリー層はきっと考えます。</p> <p>宇都宮の知人が、週末になると家族でつくばに行く友人が多いと言います。なぜと聞くと、大きな公園で遊び、しゃれたモールやコストコで買い物をする、と。でも、ここにイケアがあつたらもっと頻繁に行きたいとのことでした。</p> <p>老人福祉センターも必要かもしれません。でも、中心街である必要はありません</p>

	<p>。若い人の流れを作らないとせっかく便利になったつくば駅が死んでしまいます。やはり中心地には大きな目玉をおかなければなりません。ちなみにイケアは若い人だけではなく中高年にも受けると思います。</p>
16	<p>イメージを拝見しただけではわかりにくいものがありますが、いくつかコメントさせていただきます。</p> <p>1 交通網の整備予定について</p> <p>どのような計画をされるにしても、中心地に居住している人だけの利用でなく、市内外からでかけていけるように交通網の整備をお願いしたいです。</p> <p>交通網の整備なしに何かを作っても、周辺住民のみの利用になってしまい持続性に欠け、中心地から外れた人には他人事です。</p> <p>でも、遠くから出かけるには駐車場がないと無理です。そして多くの人が行くようになれば道路は渋滞し、駐車場が足りないということになります。</p> <p>つくば市のバスは本数が少ないのとルートが少ないので、現実的ではありません。車に頼らざるを得ない現状があります。</p> <p>例 つくバスガイド記載の利用パターン1 吉沼から研究学園付近にお出かけして買い物と食事</p> <p>研究学園まで車なら23分バス45分 つくばセンターまで車なら23分バスだと55分</p> <p>例えばガイドの例にならい 買い物して18時ごろから食事した場合、19時35分の次が21時10分 吉沼バス停には22時、子供を連れて食事はまずできません。 本数が少ない事と郊外に住む人はバス停までの移動ができません。 そういう事が利用客増加につながらない原因でもあると考えます。</p> <p>山奥で暮らしているわけではありません。つくば市で暮らしているのですから、どの地域の人もせめて30分に一本くらい中心地に行けるように、アクセスポイント(バス停</p>

等)に車や自転車をおいて移動できるようにしていただきたいです。
中心地への移動が可能になれば、利用する方も増えると思います。

また、アクセスポイントについての提案ですが、
例えば、TX、関東鉄道、下妻市、つくば市が連携し、実験的に、下妻駅発つくばセンター行きのバスを走らせてはいかがでしょうか。
常総線は関東鉄道がパークアンドライドで無料駐車場を設置しています。停留所は多くつくらず、途中2箇所くらいパークアンドライド(無料駐車・駐輪場)停留所を整備、車で35分くらいなので2箇所ならば45分程度でつくばまで移動できます、バス料金はかかっても無料駐車場であれば利用すると思います。
都内に通勤の方も多と思うので、夜は遅くまで運行していた方がいいかもしれません。

車を控える事で健康増進にもつながります。

効果があれば、下館つくば間、JR常磐線とも連携し、土浦つくば間、石岡つくば間などにも広げていけるのではないのでしょうか。

都会と異なり交通網のない地域では、そのような工夫をするか、欧州のように路面電車を走らせるなど交通網の整備が必要だと思います。トラムは大きな資本の投入が必要ですが、このような手法であれば、例えば、大きな駐車場を持つドラッグストアやスーパーなどと連携で、さほど費用はかからないと思います。

そして、大学とつくば駅周辺は車を排除してほしいです。
せっかく歩ける環境があるのに、もったいないです。

どのような手法でも構いませんが、交通網の整備は優先して考えたほうが良いと思います。
(研究学園周辺は、かなり無理があると思っています。)

2 図書館について

比較的多くの方が図書館&サードプレイスを望んでいるように感じます。私も同感で、図書館と書店を併設が希望です。書店は専門書中心の大人向けに特化した書店はいかがでしょうか。

また、図書館については、素敵な図書館が土浦市に出来ましたので、連携して相

	<p>互に貸し借りする事はできないでしょうか。</p> <p>3 緑豊かな自然あふれる街並みについて</p> <p>中心市街地活性化の話とは少し離れてしまい、申し訳ありませんが、是非お聞きしたい事があります。</p> <p>市街化調整区域のソーラーパネル乱立です。ここ2年くらいでドンドン出来ましたね。</p> <p>5Mから10M以上の木がある雑木林が伐採され、ソーラーパネルに変わっていきます。</p> <p>緑の景観は失われ、キジ、コジュケイ、ノスリ、野うさぎなどそこに暮らす生き物が行き場を失い困っているようです。大きな林で鳴いていた鶯、今年は小さな林で鳴いています。コジュケイが小さな林を奪うように鳴いていました。</p> <p>何のための市街化調整区域なのでしょう。</p> <p>何を調整している区域なのでしょう。</p> <p>そして20年後、ソーラーパネルはどうなっていくのでしょうか。</p> <p>市街化調整区域への許可はしないでいただく事はできないでしょうか。</p> <p>以上となります。</p> <p>拙い文章、乱文にて大変失礼いたします。</p> <p>最後まで、お読みいただきありがとうございました。</p> <p>今後つくば中心地がどのように発展していくのか、楽しみにしております。</p>
17	<p>コンサルはもちろんみずほ総合研究所だけしかないわけじゃないが 多くの市町村の共通の問題点も載っているため インターネットで無料で読める下記の資料例なども参考にして街づくりに活かして ほしい</p> <p>2007年12月21日 みずほ総合研究所株式会社Working Papers 地域経営シリーズ 中心市街地活性化のビジョン作りに向けて</p>

～基本計画策定のポイント～

多くの市町村で活発化する基本計画の策定。計画全体を体系化し、関係者に共有されるものに仕上げる上で重要となるのが、中心市街地や地域の将来像ともいべき“ビジョン”の検討である。

https://www.mizuho-ri.co.jp/publication/sl_info/working_papers/pdf/report20071221.pdf

みずほ総合研究所株式会社

【平成23年度中心市街地商業等活性化支援業務】

中心市街地活性化の取組に対する診断・助言等支援事業
報告書概要版

http://www.meti.go.jp/policy/sme_chiiki/town_planning/h23_houkokusyo_shindan_gaiyou.pdf

平成25年度中心市街地商業等活性化支援業務

(中心市街地活性化施策の効果分析・検証事業)

報告書

平成 26 年 3 月

経済産業省商務流通保安グループ中心市街地活性化室

委託先:みずほ総合研究所株式会社

http://www.meti.go.jp/policy/sme_chiiki/town_planning/h25_houkokusyo_koukabun_seki_kensyou.pdf

土地総合研究 第22巻第1号(2014年冬)

● 特集モビリティデザインとまちづくりの戦略

http://www.lij.jp/pub_t/pubt3_22_1.html

土地総合研究 第26巻第2号(2018年春)

● 特集「縮退の時代における「管理型」都市計画」

http://www.lij.jp/pub_t/pubt3_26_2.html

土地総合研究 第25巻第4号(2017年秋)

● 特集都市づくりの新動向: 広域連携、立地適正化、エリアマネジメント、担い手

http://www.lij.jp/pub_t/pubt3_25_4.html

18	<p>学園都市の神戸市、立川市、八王子市 広島大学のある東広島市 福岡市 北九州市 仙台市 盛岡市 上越市 長岡市 新潟市 岡崎市</p> <p>中核市かつ近隣県の郡山市 福島市 いわき市 高崎市 前橋市 宇都宮市</p> <p>商業が活発かつ大都市圏近隣のベッドタウンの 門真市 東大阪市、岸和田市 吹田市 豊中市 尼崎市 伊丹市 池田市 堺市 宝塚市 犬山市 春日井市</p> <p>つくばエクスプレス沿線で居住環境の際に比較される松戸市、柏市 茨城県の水戸市 土浦市 守谷市、牛久市 取手市</p> <p>こういう街の中心市街地活性化ビジョンや中心市街地活性化基本計画などを参考に してほしい</p> <p>高齢者、障害者向けやいろいろな年齢の混じった 集合住宅、シェアハウス、コレクティブハウス、寮など 共同風呂や共同ダイニング、運動トレーニングスペースなど付きの共同住宅 IoT住宅(ガスや電気、ポット、照明などで利用変化がなかったり、床に倒れたまま 動かない、またはいつもの時間に布団から起きてこない、血圧や体温、脈拍に異 常がある場合連絡が行くなどの倒れた時の安否確認付きの家や寮)を増やしてほ しい 建て替えなどでもIoT住宅化バリアフリー化に補助や建て替え期間の短期引越し 補助が欲しい</p> <p>駅前で豊かな食体験や歩きたくなるように中心部ペDESTリアンやアッセ、竹園ショ ッピングセンター、アイアイモールなどに台北士林夜市のような飲食、雑貨など混じ った屋台村や屋台街を</p> <p>隣接の公務員宿舎を閉鎖、民間売却、解体時や建て替え、販売時に 説明会の開催や意見を聞く場を作してほしい。</p> <p>駐車場:集合で作るか個別で作るかや2台停めるスペースを作るかなどや 将来的には3台目などの停められる貸し駐車場が欲しい。 (戸建て分譲集合住宅地では夫、妻で2台持つ場合や</p>
----	--

子供が大きくなるとさらに必要になるという問題が出てきた。
また路上駐車や飛び出し、車出し入れ時の事故の不安もある)

住民の意見を聞き

見た目 色、材質、工法 屋根、窓、壁 高さ 光取り入れ、太陽光パネル、ガス、
電化など統一感を持たせてほしい

(最近開発された他の新興住宅地区のように

見た目がそろっていた方がより景観が安定し良い)

1区画につき少なくとも300坪から400坪以上を標準とした芦屋市六麓荘町のように
広い住宅専用の地域や防音住宅の多い音楽家向け地域、スポーツ選手向け地域
、アーティスト向け、研究者向け地域、学生向け地域など

何か地域ごとに住む住人層を想定して特色つけた地域も作れば、

高所得層の誘致や商店の特色化を付けた他の町なら1000人に一人レベルの店で
大都市にしかできないような店も対象が集まっていることにより成り立つため、
トガッタ店を誘致などもしやすい

そこでしか経験できないことや感動や体験、ストーリーを感じるような街づくりにし
たい(例えばジブリ作品の町や手塚治虫、小松崎茂、藤子不二雄、の未来都市の
ような感じ)

・農業体験、農業民宿、ロボット民宿、外国語体験民宿など付加価値のある宿の提
供 民宿の特区化などや高付加価値民宿への講習や認定制度、紹介制度が必要

つくばや土浦もアリーナ作るより競馬場か競輪場、競艇場の場外購入所など作っ
たなと思います

若手クリエイターやベンチャー、若手経営者向けなどの賃貸、ロケ利用などの紹介
がほしい

観光客向けにタクシーやバスなども一日観光パスができないか？

市内ホテル利用で交通割引

市内交通利用で宿や市内商店割引

市内買い物で市内交通割引など

筑波大薬学部、歯学部などの誘致でもっと医療系学会も開けるようになる、筑波大
には薬学部がないので呼びにくいと聞く

	<p>つくば市中央図書館のクレオ移転について</p> <p>重量問題でも置ける書棚の数の縮小や、図書館に来る利用者もビルの6階では導線を考えたら、図書館に来るといった目的がある人以外は何かの用事についてによるというような気軽に使えず来客も減ってしまう可能性が高いので、ただでさえ電子化の流れやネットに頼っている中で家庭でも書籍購入数などが減り、読まれにくい紙の本の流れから考えると公民館の図書コーナーか学校図書館並みになってしまうおそれがあります。</p> <p>もちろん図書館でも専門図書館や稀覯書専門、外書専門、コミック専門、学術書などに特化したらそこにしかない、そこでなら読める。</p> <p>もしくはここに来ればその道の専門の司書やコンシェルジェなど人がいる、納得いく選書があるなどと言う事で不便な場所にあっても集客できる吸引力がありますが、一般図書館では高層階での来客増加は厳しいでしょう。</p>
19	<p>私は、つくば市中心部にカルチャービルを提案します。</p> <p>子供から大人まで利用出来て子供は塾や習い事、大人はフィットネスや講座教室があれば幅広い世代が利用出来ると思います。</p> <p>この周辺は子供たちも多いのでこのようなカルチャービルができれば利用する方が多いと思います。</p> <p>あと、その中にカスミが入ればお客さんもたくさん来ると思います。近くに竹園店がありますが中心部にあってもお客さんは来ると思います。ジャスコが閉店してしまい不便になりました。</p> <p>公務員宿舎も来年3月で撤去となり今後、住宅開発されたらもっと人が増えるのでマーケットが欲しいです！</p> <p>中央図書館の案があるようですが今の環境、場所で充分ですので図書館を移動するのは反対です。</p> <p>つくば市中心部に住んでいるものの意見として取り入れて下されば幸いです。よろしく願いいたします。</p>
20	はじめに

「世界の明日が見えるまち」を実感する象徴として、まちのど真ん中で子どもたちが1日中野外体験や遊びを繰り広げ、親も子育てについての貴重な学びを得られる公園「子育てのための公園」を創って欲しい。現存する大規模公園・緑地が有効活用できる。つくば市の門脇教育長が掲げる改革にも合致する。

案1

◆子どもの成長と集団遊びの不可欠性を多くの大人に認識してもらうために、地域内の公園をプレイパーク化する。

試験的に一箇所を、専門機関(※)と連携し週末3ヶ月程実施し、市民・専門家・行政で評価。

※)専門機関としては

- ・日本冒険遊び場作り協会

……遊び場の普及・運営及びプレイリーダーの育成に実績大。

- ・公益財団法人ハーモニセンター

…自治体の公園で子どもと自然と動物体験を融合させた活動及び若者ボランティアの育成に実績大。

などがある。

案2

◆「子どもが元気になる公園アクティビティアイデア」を市が公募。内容を公開し、いいものを継続的に取り入れる。

案3

◆親向けの「子育て学講座」を通年実施

教育心理学・発達心理学など、「0歳～15歳程度までの子どもの成長過程」を親や大人が体系的に学べる講座を市が提供する。インターネット配信講座でもいい。

案4

◆市の広報紙の一面に毎回「パパママで考えよう子育て素朴なQ&A」を出す。

案5…プレイパークを子どもの寄り道・道草の場として平日活用するために

◆学校帰りの寄り道文化を消滅させている(※)小学校の学校安全保険の内容を見直しをする。

(※)

この保険によって学校は子どもの寄り道の事故にも責任を持たされ、「寄り道するな、遊ぶな」といわざるをえなくなっている。

危険が多い都市部はともかく、農村部では帰り道に田んぼや草地で遊んでいると住民から学校に通報される始末である。午後4時前に下校では帰宅後に再度遊びに行く時間は殆ど残されておらず、今や田舎の子のほうが自然や外遊びの力が非常に衰えている。

この、全国的に存在する大問題のひとつの原因が学校保険である。つくば市の権限の中でこれを改革する対応などできないのであろうか。

《背景にある認識として》

「積極的選択肢」で子育てできる社会になってほしい

今の親は「子どもの育て方」を系統的に学ぶ機会が殆どない。昔はあったのかというと昔もない。ただ、おそらく3世代前ころまでは、人々の職場と生活が近く近所での交流が豊かで、大人が他人の子を褒めたり叱ったり助けたりが普通にあった。年配者からの知恵なども聞きやすかった。

子どもの世界も塾や習い事は殆どなく大人の見えるところで自由に遊び、どの子がどんな子かを大人も互いに知っていた。

そのような環境は親の子育て心理を大きく助け、近所の人に気付かれずに乳飲み子を虐待してしまうような事例は殆どなかった。

しかし高度成長期の産業化で激しい人口流動が生まれ都市部には若い核家族ばかりの街が増え、繋がりも歴史もなく自分たちだけでの子育てをせざるを得なくなった。

子どもを守るのは親の本能であるのに、子育てについての体系的な学びの機会もないままに親になり、身近な知人や先輩(お年寄り)など地域の日常のつながりもない中で子育てするのであるから不安になって当然。

そして回りを見ると多くの人が何かしら子どもにやらせている。やらないと親子とも友だちもできない……かくして教育産業に子どもを預け、みんなでホッとする……これが今の均質化した子育ての底流のように見える。

これで子どもたちの成長がいい方向に行っているのであれば問題ないが、これは、あくまで親が不安を解消するための消去法的な選択(と、殆どの親は思っていないと思うが)であって、子どもの成長過程でまず大事なものは何かをじっくり学んだ上での積極的選択とはいえない。様々に騙られる子どもの問題がそれを物語っ

ている。

実は多くの親はほかに選択肢がなかった「子育て漂着民」であるかもしれないのである。

つくばには「高学歴勝ち組」の親が早期・英才教育を積極的に求める例も多いが、どちらにとっても「子どもの成長過程とそれに適した活動」の基本をきちんと頭に入れておくことは不可欠である。

地域の自然な教育力が崩壊している今では、それは社会教育として行政が提供しなければならないものなのではないか。

理解力の高い住民や多様な教育体験を持つ外国人住民が多いつくばであればこそ、自由に選択肢の豊富な外遊びの場を街中に開設すれば、内外の多くの人々に注目され発信される可能性は高いと思われる。

公益財団法人ハーモニーセンターについて

HP (<http://harmonycenter.or.jp/>)を開き、
事業所一覧をご参照下さい。

・青少年の自然体験・動物体験・野外教育等を進める専門機関とし

て50年以上の歴史を持ち、長野県にある自前の牧場での自然体験

子ども合宿の他、東京都目黒区・板橋区・葛飾区(2箇所)、神奈

川県相模原市・横浜市・海老名市、茨城県取手市の7つの自治体で

計8箇所の都市公園において、一般向けのふれあい動物園業務の他

に、子どもまたは親子向けの体験教育を行う「子ども動物広場」ま

たは「ポニースクール」などを指定管理・受託等で行っております。

す。

	<p>・またそれらの諸事業において、自らの社会学習体験を兼ねて子どもたちと共に活動する大学生中心の青年ボランティアも毎年100以上組織しています。</p> <p>・自然体験・動物体験・若者の社会体験(ボランティア育成)を一体化し行政との連携事業も行なう団体はおそらく日本に二つとないと思われます。</p> <p>・若い家族にとって最大の関心事は、間違いなく豊かな子育て環境が身近にあるかです。</p> <p>その点でハーモニセンターの各施設は間違いなく都市の近隣住民や行政から支持を受けています。</p> <p>つくばでそのような施設が作られれば、全国から集まった優秀な学生や多くの外国人がボランティアとして地域の子どもたちとふれあい、さらに国際色豊かな「新しいつくば文化」が生まれるのではないかと思います。</p> <p>以上のような観点で、ぜひ公益財団法人ハーモニセンターの情報を収集されることをお勧めします。</p> <p>※ホームページ</p>
21	<p>遊び、知的刺激、緑、ローカルといったキーワードに共感しました。とてもよいと思います。</p> <p>つくばは県庁所在地並の知名度があるにもかかわらず、水戸などと比べると文化芸術イベントが少ないです。たとえば長野県の松本市や、福島県のいわき市などは県庁所在地ではないですが、松本記念オーケストラがあったり、アリオスという文化施設でイッセー尾形さんによる演劇教室があったりと、とても魅力的な企画をしています。</p>

	<p>つくば市は緑が多く、知的好奇心の豊かな人が多く、いろいろな地方出身の人がいて、こだわりの美味しいお店もたくさんあり、おもしろい街だと感じています。そんなつくば市ならではの、文化芸術施設やイベントがあると、住んでいる人も楽しめるし、他の地域からも人がたくさん来てくれると思います。</p> <p>ミニシアターもあるとよいと思います。</p> <p>最近では官舎の取り壊しや金田地区の開発などで、緑豊かな土地が丸裸にされるのを見て悲しいです。ぜひ緑はたくさん残して、自然の地形をいかした土地開発を、最先端の技術で実現してほしいと願います。それこそが未来へとつながるローカルな魅力ある街づくりではないでしょうか。画一的な土地割りだと、一代限りになる家族が多くなり、多摩ニュータウンや森の里のようになってしまわないでしょうか。</p> <p>それと、スケートリンクがほしいです。</p>
22	<p>つくば中心市街地まちづくりにあたっては、「車がない地元住民」と「車がなくバスや電車で中心市街地に来る人(観光客を含む)」を主な対象者として構想を練ることがよいと考える。自らは、前者であるが、西武・クレオ閉店後、大変不便な生活をしており、家族や知人・友人も同意見である。それを踏まえて、下記を提案する。</p> <p>1. 西武・クレオ跡地</p> <p>★茨城件全体の商品を扱うアンテナショップ(生鮮食品、土産(手頃な価格のものから、ギフト用の高価なものまで))</p> <p>★マルイやルミネなど、若年層も対象となるデパート (西武と比較し、学生なども行きやすい)</p> <p>その他:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国各地の物・食品(西武でも売っていたようだ) ・家庭雑貨や衣料品(現在、駅周辺にはない) ・リブロを広げる ・住民等が参加することのできる活動・教室の開催(交流センターと類似だが、個人で参加をしたり、ワンコインで参加できるもの。様々な種類を提供。)また、部屋の貸し出し。 ・保育園 ・1階などは、屋内駐輪場とする(現在駅周辺で不足) ・市役所の出張所(いずれも、つくば駅周辺では徒歩圏内の所がない)

	<p>2. エキスポセンターの横の土地</p> <p>中央公園、図書館、エキスポセンターなど、公共施設に囲まれた場であるため、市民の交流の場として活用できることが望ましい。開放的な遊びのスペース、喫茶店などが考えられる。また、中央図書館は、席の少なさや美術館の狭さが気になる。中心地にあり、市内、県内ではアートの活動も盛んなため、図書館と美術館をより広くし、リニューアルすれば、様々な人が展示を観に訪れることにつながると考える。</p>
23	<p>西武、イオンの閉店、それに加えセンタービル内飲食店も撤退し、中心街再開発には絶好のチャンスが来たと考える。経済優先から質を高める時代に入ってきたといえる。</p> <p>現在、つくば市が提唱している「世界のあしたが見えるまち」を具現化するために以下の事項を提案する。</p> <p>1) 地球人類が生存するためのテーマ館の創設</p> <p>①食料</p> <p>②水</p> <p>③エネルギー(環境を含む)</p> <p>この3要素は人類生存のために絶対必要であることは皆さん認めるであろう。</p> <p>つくばにある研究所・大学はこの3要素に係わっており、持続可能な社会を目指す国連のSDGsの考え方を取り入れようとしているつくば市とこの3要素に関連した国内外の企業が協働してテーマ館を作り、運営することは可能であると思われる。</p> <p>そして、3要素に係る多くの課題解決のためにはAI技術の関連企業の協力も必要である。つくば市にしかできない世界に向けた「世界のあしたが見えるまち」を可視化することはつくば市の使命ではないだろうか。</p> <p>2) つくばの文化をさらに高めるために文化施設の集積を図る</p> <p>①戦後70年間の人間形成のための教育を総括し、これからの教育の在り方をしめすテーマ館をつくる</p> <p>②「考える市民をつくるまち」の実現の一助となる図書館の充実</p> <p>③ノバホール、エポカル、カピオを補完するような市民が手軽に使える小規模イベント用のホールを設置</p> <p>④中心地区のペDESTリアンデッキ、広場は誰でも、いつでも、パフォーマンス出来る地域にする</p>

	<p>3) 市民参加の「まちづくりサポートセンター」の設置</p> <p>ここでいう市民参加とはボランティア活動をはじめとする市民が行う自由な社会貢献活動を通して公益に寄与し、結果として市政の一端を多くの市民が担うことを意味する。</p> <p>つくば市には多様な多くの[市民活動団体・個人]が存在しているが、この活動をサポートしている各部署は分散していて、[市民活動団体・個人]間の交流・連携が取りにくい環境にもなっている。</p> <p>仮称「まちづくりサポートセンター」を交通の便が良い中心市街地に設置し、下記のような機能を持った支援組織を集約して、市民に幅広いサポートができるような場を創設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動(ボランティア、NPO活動等)支援 ・子育て支援 ・男女共同参画活動支援 ・障がい者支援 ・生涯学習支援 等々 <p style="text-align: right;">以上</p>
24	<p>西武百貨店跡地への提案</p> <p>健康をテーマとした建物／核は図書館(頭)と温泉(体)</p> <p>以下のような施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1階は無料自転車置き場 「自転車の街つくば」「ペDESTリアン有効利用」「自転車専用レーンの充実(海外の街を参考に)」「自転車で健康増進」「りんりんロードとの共生」 2階 <ul style="list-style-type: none"> ●2階は音楽ライブやイベントもできる市民参加型イベント会場 「2階ペDESTリアンと繋がるマルシェ」「開放」「全天候」「格安で出店可」「プロデュースされた音楽ライブやイベントの開催」「良い音響設備」「常設の展示コーナー(筑波大学芸術専門学群の作品展や各研究所の展示物など)」「市内の習い物の発表の場(キッズダンス、フラダンス、シルバー会のカラオケなど)」 ●図書館(中央図書館を移転) ●市役所の支所 ●託児所(図書館利用時、温泉施設利用時) ●温浴施設「温泉」「リラックスできる」「本がゆっくり読めるエリアがある」「長時間

滞在ができる」「屋上に男女問わず使える足湯～筑波山や関東平野に沈む夕日
 を見ることができる」「読書図書コーナーあり」「TX線沿いのお客さんが見込める」「
 TX利用の日帰り筑波山登山者の需要」「つくば駅から雨に濡れず入館できる」「気
 軽に楽しめる非日常空間」

参考店舗:「万葉倶楽部神戸店」「おふろcafe utatane」

●フードコート「オリンピックの選手村にあるようなレストラン」体組成計設置 登
 山前と後を計測し、消費カロリーなどからおすすめメニューを作成 自分の必要カ
 ロリー計算 ビッフェ 料理にはカロリーや栄養価が表示されそれを見ながら食事
 をチョイスする 自分のデータを入れると自動でおすすめメニュー(種類、量)を出し
 てくれる 筑波大学栄養学 食育 日常の食事内容を意識できるように 地元野菜
 などの食材使用 紹介 産直販売店

●パブ「英国風パブHUBのような」「立ち飲み」「大人の交流の場」

●読書ができるカプセルホテル「気軽につくばに滞在(つくばの良さは数日滞在し
 てわかる)」「入浴後の宿泊」「代行車の代わりに宿泊」「大学受験シーズン、国際
 会議場などのイベント時の宿泊施設不足の緩和」

参考店舗:「BOOK AND BED」

●主に周辺エリア(吾妻、竹園、東新井など徒歩圏内)を対象とした「スマートウェ
 ルネスシティのモデルエリア」の中心点としての設備(住民の健康管理、健康相談
 、運動相談ができるスタッフ常駐、体力テストができる、体組成計で身体の状態を
 知ることができる、FeliCaが使える機器との連動)

●つくばインフォメーションコーナー(イベント情報、大学情報、研究所情報、ワーク
 ショップ情報、宿泊情報、観光情報、健康情報など)

【その他の提案】

●図書館移転後のアルスは美術館として使用

●つくばエキスポセンターを、水族館にする

→まずは中央公園の池の水を透明にきれいにする

→センタービルからエキスポセンターまでのペDESTリアンに移動用の車両

→例)ひたち海浜公園のシーサイドトレイン

→将来、エキスポセンターと洞峰公園の間を運行

●つくバスの路線拡充(フィリピンのバスジブニータイプも楽しい)

●冬季のセンタービル中庭全面をスケートリンクにする。ロックフェラーセンターの
 ように。ノンアイススケートパネルを使用。照明などでロマンティックな雰囲気を作り
 デートのメッカを目指す。リンクの周りには飲食店。

●つくばの人は海外生活経験者、あらゆる分野の「本物」を見て来た人など、目が
 肥えた人が多いと思うので、何をしてもある程度お金を掛けて、しっかりとし

	た物を作らないと人が集まらないと思います。
25	<p>私は現在つくば市が抱える問題点を以下の3つに分けて意見を展開し、案を提示する。</p> <p>①建売住宅による、つくば市の景観劣化について ⇒つくば市特有の外観デザインを定め、建築法を設ける</p> <p>②公共及び商業施設への徒歩および自転車でのアクセスについて+つくば駅周辺の活性化について ⇒つくば駅から各公共・商業施設への安価なシャトルバスを運行する ⇒地下通路を拡大させ、地下空間を最大限利用する</p> <p>③わかりやすい観光スポットがない ⇒エキスポセンターを活性化 ⇒つくばの歴史スポットへの宣伝強化+バス増便</p> <p>①建売住宅による、つくば市の景観劣化について 「研究学園地区まちづくりビジョン」「つくば市都市計画マスタープラン2015」でも指摘されているように、かつての公務員宿舎地域は、「計画標準」なく民間の企業が建売住宅地として開発し、日本の他の地域でもどこでも見られるような、凡庸な、そして経済性重視の文化のないデザインとなってしまった。</p> <p>かつての公務員宿舎地は、瓦屋根で統一されており、高台からみた景色が田園風景とよく交わり、洗練されたものであった。また、その住宅地に住む子どもたちが、近所で集まって遊ぶ広場が必ず確保されていた。</p> <p>ここ15年間に建てられ沢山の住宅街は、つくば市という、研究に必要な想像力を培うために開発された都市に似つかわしくないデザインである。</p> <p>「つくば市都市計画マスタープラン2015」の第3章-4節2(P56)「文教地区、高度地区、敷地制限条例」に加え、<u>今後は民間企業の開発に厳しく介入し、高さや面積以外にも、外観のデザインのある程度の統一を提案したい。そしてそれは、つくばの歴史を考え、古いものと新しいものの協和をイメージするデザインであってほしい。</u>また、農村集落以外にも、小野崎周辺の田園部のスプロール化が進んでおり、車道への影響が出ていることから、徹底した現状調査と土地利用規制、景観規制を願いたい。</p>

また、つくばエクスプレス沿線区の田園都市の都市開発においては、新設する施設や住宅地において、既存の古民家との外観的相性を十分に考慮してデザインしてほしい。田園都市だけでなく、その他の地区の田園部でも同様の配慮が必要である。

※交流スペースとしては、住宅地に限らず、ショッピングセンターでの子どもの遊具を撤去することをやめてほしい(実例:松代ショッピングセンター)。小学生以下の子どもたちは、親が買い物中、そこで遊ぶことにより人の輪を広げていたのに、ショッピングセンター拡大のために今は何も無い空間になっている。

②公共及び商業施設への徒歩及び自転車でのアクセスについて+つくば駅周辺の活性化について

<研究学園駅周辺の施設へのアクセス>

「つくば市都市計画マスタープラン2015」第3章5節4(P66)バス交通等に、バス沿線の見直しについて言及されているが、それに関して、つくば駅バスターミナルから研究学園駅周辺の各施設(特に市役所とイーアス)へのバスを運行することを提案する。そして車を持たない学生たちがこれを利用することに抵抗感を覚えないよう、これらのバスは安価であって欲しい。現在つくば駅周辺の商業施設はその利用者数にかかわらず閑散としているが、各人気商業施設に行く人々をつくば駅に一旦集約すれば、つくば駅周辺も活性化するのではないだろうか。

<つくば駅の地下空間>

「つくば市都市計画マスタープラン2015」第3章5節5(P67)歩行空間についてだが、誰もが安全に歩行できるようにするだけでなく、雨天であっても駅周辺の施設にアクセスできるよう、つくば駅から、エキスポセンター周辺、マルベニ、ノバホールー帯に巨大な地下通路を引き延ばせば、より多くの人々が既存の施設を利用するのではないだろうか。

「つくば市都市計画マスタープラン2015」第3章5節6(P67)の自転車利用、駐輪場においても、スロープをつけて地下に駐輪場を確保できればより改札口に近くなり、利用しやすくなる。

更に、この地下空間も最大限に利用すべきである。電車の待ち時間、電車内で

は読書や、電子機器を使うことが多いのだから、改札ホーム付近には本屋と電気屋を置くべきである。また、観光客は必ずつくば駅の地下を通ってくるのだから、Bi Vi内よりも改札近くに観光情報センターを設置し、各観光スポットやイベントの宣伝を地下空間で行うべきである。Q't裏の立体駐車場も、地下に移動させ、西武デパート跡を拡大させれば、イーアスをしのぐ大規模な商業施設が建設可能ではないだろうか。

<自転車でのアクセス>

第3章5節6(P67)にペDESTリアンデッキ、りんりんロードについて言及があるが、田畑の近く、入り組んだ住宅街(松代など)は自転車の利用が多いにも関わらず歩道が狭く、路側帯も狭いため、衝突の危険や、車輪を痛めることが多い。具体的な解決策は現在考えることができないが、これについても考慮して欲しい。

また、自転車の利用は環境にも優しく、推奨されるべきであるのに、つくば駅周辺の駐輪代は150円と、東京都内よりも高い。無料にするか、値下げをして欲しい。

③分かりやすい観光スポットが少ない

遠方からの友人をつくばに招くとき、筑波山神社以外のアクセスし易い観光スポットがなく、またその神社も12:00代に駅からのバスがなくかつ700円と高いため、車なしでの観光案内が非常に難しい。サイエンスツアーも、時間の制限があり、かつ土曜日しか開催されないうえ、特に外国人に関しては流暢な英語で案内してくれるところが少ないので紹介しづらい。

研究学園都市であることのアピールに対しては、新しく何かを作るより、エキスポセンターを拡大し、つくば駅の地下空間を利用し、常に何が催されているか宣伝してすることを提案する。

特にプラネタリウムは目玉とすべき施設である。また、外国人観光客が来ることも見込み、英語でのパネル作成、英語が話せるスタッフを常駐させ、国際都市であることもアピールしたい。

26 まちづくりビジョン(案)3ページ目の「イメージ」への意見と提案です。

●買い物に行きたくなる充実した店ぞろい

西武撤退はつくば駅前の市場価値を如実に表しているものであり、今後の人口減少や東京への集中を考えると空洞化や衰退が加速していくものと強く懸念される。つくば駅前の利用者増を図るため、市が思い切ったインパクトのあるイベント(ソフトの充実)を開催し、今までにない圧倒的な来訪者を得ることができれば、再び

民間の参入による西武跡地再開発(ハードの充実)の可能性がでてくるのではないかと考える。(後述)

●知的刺激やアイデアを得られる場所

●遠くからでもみんなで出かけたくなる文化芸術イベント

市内外から人を集める文化芸術イベントを定期的を開催することは非常に重要であるが、現在行われているものは市外から大量に来訪者を動員することは難しい。また、東京と近いだけに日本科学技術館などとまともに対抗するのは困難であると思われる。しかし、つくばならではの科学技術が身近である利点を最大限活かし、全国に例がない”万博のような”の大規模科学イベントを創出することは可能であると考えられる。

【大規模イベント提案】

■名称(案):大つくば科学博覧会20XX

■目的:リアルに「世界のあしたが見える街」を体験させる

(つくばを名実ともに世界一の科学の街と言わしめる博覧会を開催する)

■日程:学生の夏休み時期

■期間:1週間~10日

■開催間隔:年1回、2年に一度

■開催場所:つくば中心市街地(センター地区およびエリア内の公園、カピオ、エキスポセンター)国の研究機関、小中学校(吾妻、竹園、松代、並木)

■開催内容:(国の協力が必要であるが)国立の研究機関の一般公開、科学フェスティバル、講演会などはこの期間に統合し、かつ中心市街地で下記のようなイベントを開催・招致する。

・会えるノーベル賞受賞者・講演会

・会えるカリスマ起業家

・会える宇宙飛行士

・ロボコン会場誘致

・AI囲碁・AI将棋国際大会誘致

・AI連携を必須としたスポーツ大会

・eスポーツの全国大会誘致

・HALなどパワースーツを着用した体力拡張スポーツ競技

・ドローンレース

など

■スタッフ:近隣自治体を含む市民ボランティア、学生有志

■参考イベント:(コンテンツのユニークさで大人数を動員している例)

株式会社ドワンゴ主催のニコニコ超会議(2日間)

2012年の来場者9万人→2018年の来場者16万人

ネット来場者2012年347万人→2018年612万人

■来場者目標:10万人(当初)

■会場間移動:パーソナルモビリティ(将来的)、電動バス、無人運転車(将来的)

■決済はキャッシュレスもしくは市内専用デジタル通貨

■協賛企業・団体等:最先端技術を街をあげて体験させるための車両、デバイスなどは民間企業から提供を受ける。その他 文科省、文化庁等

■宿泊対応:中心部・周辺地区ホテル以外は民泊、キャンプ場、オートキャンプ場活用

これくらいのイベントができれば科学万博を知らない若年層にもつくばの名前が浸透し、転入希望者増加にも繋がることを期待する。

●一日中過ごせるサードプレイス

土浦駅前に図書館、自転車サイクリングの拠点が新設されているが、つくば駅前でも同様の刷新をしてほしい。

しかし前述のように、活性化を刺激したあとに、民間が参入することが望ましい。

●科学技術が活用され、日常生活に採り入れられているまち

つくばはモビリティロボット実験特区であるが、道路交通法もあり、日本ではパーソナルモビリティ(セグウェイ・電動一輪車など)が、まったく普及していない。そこで、つくばが中心市街地と近接する住宅地につながる歩道・ペデを改造し、パーソナルモビリティ対応歩道網(自転車通行可)を全国に先駆けて整備し、パーソナルモビリティ普及のパイロットモデルを築いたらどうか。

●新しいビジネスにつながるスタートアップの拠点

●日常が科学教育環境

中心市街地に大規模なファブラボ(3Dプリンタや多様な工作機械を備えたワークショップ)を誘致してほしい。新興企業、教育、DIYに活用し、市民全体のクリエイティビティの底上げに繋がると期待できる。

●緑豊かな自然あふれる街並み

●歩きたくなる街並み

中心市街地は街並みを考えられているが、赤レンガの荒れや、雑草が多いのが残念に思う。とはいえ、除草の費用も多くなるので、例えば道路脇などは、防草機能を持った構造物等を積極的に活用していただきたい。

例<http://www.g-mark.org/award/describe/45569>

	<p>以上。世界に誇れるまちづくりを期待します。</p>
27	<p>【該当箇所】 ローカルLocal × 持続可能性Sustainability</p> <p>【意見】 歩行者や自転車に優しいまち →車に頼らなくても、徒歩や自転車などで快適に移動できるまち</p> <p>【理由】 都市やエネルギー面での持続可能性を考えると、少なくとも中心部での移動は自動車がメインではないことを打ち出してほしいため</p>
28	<p>4ページ目(ここしかビジョンはありませんよね)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの柱を示すのは良いと思うが、もう少しわかりやすい方が良い。多様性、持続性、変化 の概念と、農と暮らし、ニュービジネスと科学技術、コミュニケーションそれぞれ3×3がうまく組み合わせられるとよい。 ・図書館の在り方の再検討への注力を強く願う。現状、改良されつつある点は大きく評価していますが、旧西武百貨店への移転を契機としてドラスティックに変化するとともに行政ならではの、知的好奇心を満たす場所提供の意味を強めてほしい。具体的にはまずは拡大(5.6階の一部などと言わず、もう少し低層で2階ぶち抜き位のイメージ)、カフェ、子と高齢者がコミュニケーション出来得るスペースなどの併設、ICタグシステム、IoT技術を取り入れた貸し借り手続きの時間短縮と簡素化(単純作業に追われる人員削減して学芸員によるフィールドワークとの組み合わせ教育なんかできるとよい。市の教育も必須)など。またシステムとして電子書籍の貸し出しができるの良いと思います(タブレットの貸し出しでは無い)が技術的に難しいですかね。 ・つくば駅周辺の在り方の再確認と意見提示を求む。 <p>中心市街地とありますが、今回の街づくりはつくば駅周辺の、という意味ですよね？市役所移転、IX開通に伴いショッピングや住む場所としての実質的な生活中心地は研究学園周辺に移りつつように感じられる今、つくば駅周辺を交通ハブ以外にどのような機能を持たせるかという今回の問いだと思いますが、ならば「中心市街地」という言葉は若干違和感有り。中心市街地ではなくてよい。過密化しないながら程よく人の目が届き、交流し、わくわくする町であることを体現する場所であってほしいと思うが、あえて「中心」と定義する必要があるのか？</p>

	<p>・単なるニュータウンではなく、最近盛り上がっていると言われる福岡市のように、世界を目指した街であってほしい(メディアが上手に上げ過ぎな感がありますが…)</p>
29	<p>(1)つくば駅利用者の利便性向上に関して： 多くのつくば市民がTXつくば駅から通勤されていると思いますが、その方達の利便を図ることで、より多くの方につくば市に居住していただけるのではないかと思います。そのために、</p> <p>(i) 保育所・幼稚園を使いやすくする。TX流山おおたかの森駅では、通勤者が駅周辺で子どもを預け、帰りにピックアップして帰るシステムがあり、大変好評だそうです。この様なシステムを構築すれば、共働きが可能になるなど良い影響が出るのではないのでしょうか？</p> <p>(ii) クレオ閉鎖に伴い、平日夜のお弁当難民が見受けられます。そこそこ遅い時間(10時ぐらい?)まで開いてる弁当屋・総菜屋さんとか誘致できないのでしょうか？キュートのフードコートも8時で閉まりますし。上記一時預かり保育と組み合わせると、夕方一夜と朝早くの2回ビジネスチャンスがあると思います。</p> <p>(2)タイアップ事業の構築： 東京から近いこともあり、中央広場を中心にドラマ・映画の撮影がしばしば行われていますが、その二次利用・コラボで駅周辺に集客を図るのはどうでしょうか？仮面ライダーや戦隊物などのショーやショップなどいろいろ考えられると思います。将来的にはつくばの名前を出した作品を創ってもらい、それとのタイアップで聖地巡礼事業が構築できればと思います。</p> <p>(3) 科学技術を核とする産業創生に向けた取り組み： 地元に新たな産業を興し、雇用を創出することが市の発展のためには最も重要だと考えます。つくば市のアセットとして、(i)独立行政法人の研究機関が集積していること(筑波大学も)、(ii)TXで都心へ、圏央道・常磐道で様々な場所へのアクセスが容易なこと、(iii)農産物・環境に恵まれていること、(iv)教育レベルが高いことなどがあり、これらを生かした産業創出を目指すべきだと思います、特に(i)は国内にはほかにない特徴ですが、その割には新規産業・スタートアップの創出に結びついていないように思われます。(サイバーダインは別ですが。)では、どうすればいいか、ということになりますが、おそらく即効性のある方法はないのではないかと思います。最近国の研究費が応用研究に偏った結果、研究内容が目先の話ばかりになってしまっているということもあります。各研究機関の研究者や学生、シニアの人々、スタートアップを支援する組織の間の交流を粘り強く続ける体制・場所作りが</p>

	<p>必要だと思われます。</p> <p>(4)市民が集う「場」の整備： 西武・イオンの撤退は、小売業による集客力の限界という面を有していたと思います。逆に、何か人が集まる仕組みがあれば、そこに小売業を組み合わせることは難しくないと思います。阪急電鉄が宝塚でやった様にエンターテインメントを立ち上げることは一つの選択肢だと思います。西武の上階は以前映画館でしたし、リノベーションして小規模映画館やPay per view などに使うのはどうでしょうか？自分は詳しくありませんが、e-sports という手もあるかと思います。ただ、エンターテインメントと言っても、パチンコ・パチスロ等ギャンブルは良くないと思います。</p> <p>これとは別に、教育施設・文化施設の誘致はどうでしょうか。学校になじめずドロップアウトした子供たちのための通信制学校やフリースクールなどや、学習塾があれば地域の子供の学力アップに貢献出来ますし、社会人やシニアも対象にしたプログラミングスクールや文化教室も有益かと思えます。外国から来られた方も多いので、そういう方々にも手伝っていただいて外国語教室という手もあるかと思えます。もっとも、単に子供・学生・市民がたまり場として使えるスペースがあるだけでもいいかもしれません。そういう場所に科学技術やエンターテインメントの様な興味を引くものがあれば相乗効果が期待出来ると思います。カフェを併設した図書館・本屋が欲しいという話は良く聞きますが、これも「気持ちよく過ごせる場所」ということだと思います。</p>
30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市はまちづくりの方向性を示すヴィジョンの作成だけに留めて、ヴィジョンに基づく実際の事業は民間にまかせられたい。 ・ 市は、一般市民が参加しやすい様に、補助制度を設ける位に留められたい。 ・ クレオの5・6F に図書館を移転する案もあるそうですが、図書は重量が大きく、東京に最近できた図書館も大部分が地下構造となっている。この移転案は止めた方がよい。 ・ クレオのデパートとスーパーの移転で空いた所へは入りたいとの希望があっても断っていると聞いている。利用を進めて、活性化を図るべきと思う。
31	<p>I. どんな人でもそこに行くとホッと一息つける場所、安心してリラックスして過ごせ、一人でも、誰かと一緒に、居心地よく過ごせる場所、お店の人やくる人など顔見知りの誰かがいてゆるやかなつながりのもてる場所</p> <p>II. TXの終点駅である、つくば駅は地域の交通の要所で、県内外の多くの人を迎える場所として、地元つくば、茨城の発信地、地元の力を活かす</p>

I・IIを実現する方法として以下の①～⑥を提案いたします。
別紙1～3をご参照下さい。

Universal Homeground & Hello Tsukuba and Ibaraki

素人意見ではありますが、今日、職業、年齢、経済力等(“カテゴリー”)の違いを超えたつながり、また地域のつながりが少ないように思います。そのような背景に加え、“自己責任論”“他者へ迷惑をかけるな”等の社会の雰囲気の中で、非常に苦しんでいる人達がおり、また声をあげづらい為に社会の中で見えにくくなっていると思っています。それは、介護、病気、育事、仕事、ひきこもり等の悩みを、家族や個人で全て抱えこまざるをえない人達だと思っています。それぞれの悩みや問題そのものを解決することが援助によって困難な場合でも、ゆるやかなつながり、そこから適切な援助をつなげていくことで、孤立や孤独からくる大きな苦しみを軽減でき、悲しい事件も減っていつてくれるのではと思います。

①交流スペース

大きなフロアにゆるやかな仕切りがある中、趣味サークル等の活動場所として使ってもらい、その他大きなテーブルのある多目的スペース、カフェコーナーがあり、直接活動に参加しなくても、場を共有できるようにする。サークル後にカフェコーナーで多くの人交流できる。介護者や親が要介護者、幼児・乳児と一緒に気軽にこられる。

②移動やトイレのユニバーサル化

体が不自由な人やその介助者にとって、移動やトイレの問題があると気軽に出かけられない。またオムツを利用している人にとって汚れた状態で長くいるのは非常に苦痛だと思われる。病院でもみかけないが、大人のオムツ交換用ベッドがほしいとの話を聞いたことがある。移動やトイレなど施設の使いやすさの土台部分は、建築家だけでなく、リハビリ専門職やユニバーサルデザインの専門家に相談、お願いできると簡単な変更のできない大事な部分において、長く多くの人にとって使いやすい場所になると思います。使いにくい、非常に不便というのは、場の雰囲気を下げると思います。そして使わない人にとっても気付きになると思います。

③地域の食材を使った食堂とレストラン

つくば駅周辺で、つくばや茨城の旬の野菜、果物、畜産、魚を使ったお店がないように思います。つくばの玄関口でもあるこの場所で、県内外から遊びに来た人が

食べられるものから、地元の人が気軽に行ける食堂のようなものがあると嬉しいです。

④ 緑を活かした空間

宿舎跡地には長年かけて木々や植物によって、計画して作られすぎた緑とは違う、自然な形の緑の空間が作られている。

整備は必要だと思うが、その空間を活かした商店や交流スペース、憩う場所はどうでしょうか。

小道の両脇に、イートインや持ち返りのできるお店、レストラン、バー、甘味屋さん、スイーツ屋さん、等々があり、家族連れでにぎやかに楽しむ場所、大人がゆったり静かに楽しむ場所等使い分けるのも楽しい場所だと思います。ゆったりしたベンチコーナーで買い物した人もそうでない人も気軽に立ち寄れる場所はどうでしょうか。

またインターネットでの買い物が広がっているけれど、自分で選ぶ楽しみもあると思うので、“買い物難民”になりやすい人達の生活に必要な物を、希望に沿っておいてあるお店はとて素晴らしいのではと思います。そこに地元のお店に入ってもらおうことで地元もうるおうことにならないでしょうか。

⑤ 就労体験・社会参加

移動その他介助の必要性や、社会、会社が求めるレベルの条件を満たせないために、社会に参加できない人がいます。個々人によって求める社会参加の程度は異なっても、社会に参加できないことは“拒否されているような感覚”とともに非常に苦しい状態にあると思います。その逆である“参加できる”ことは、大きなまたは小さな喜び、活気となると思います。市で運営するお店の場で、個々のできる範囲で店のお仕事や、必要な人に荷物運びの援助、介助の支援等に、社会参加したい人、就労につなげたい人の第一歩として参加してもらうのはどうでしょうか。たとえば、認知症の人、ひきこもりの人、その他の人

⑥ アニマルスペース

保護動物も含めて、動物に負担のない範囲でのふれあいコーナー、人と直接ふれあうことが苦手な人でも、動物とのふれあいや動物を介したふれあいはできやすいと思われる。高齢だったり、経済的な理由で飼育できない人がいると思うが、人の精神的な安定や、ふれあいから生まれる動作からくる心身のリハビリ効果は大きいと思う。

どんな人も、自分のとり囲まれている、人や地域、空間、制度等の環境に大きく

	<p>影響を受けて生きていると思います。“Homeground”な場所があることで、生活に安らぎや休息が十分あることで、個々の分野でその力を発揮しやすくなる土台作りになると思います。ぜひとも、いい“環境”土台作りをしていただきたいです。</p> <p>手書きで乱文で読みづらいと思いますが、よろしくお願いいたします。</p>
32	<p>つくば周辺でボート、カヌーなどができる場所がないので、イラストにあるようにつくば駅周辺で気軽にできたらいいなと思います。また市内中心部にはバーベキューができる場所がないので、気軽に使えるバーベキュー施設などもあったら便利だと思います。</p>
33	<p>つくばは、研究者(特に科学者)や外国人(研究者およびその家族、留学生)が多い。その人材を生かし、</p> <p>大学、研究所の職員あるいは退職者による科学教室、IT教室</p> <p>つくば在住の外国人による語学教室や、英語で学ぶ(イマージョン教育の)音楽教室、美術教室、科学教室、スポーツクラブなど(子ども及び大人対象)</p> <p>上記の教室と併設した児童館</p> <p>駅前保育所、こども園(これをバイリンガル教育にするのもよい)</p> <p>カルチャーセンター(特に、つくばの特徴を生かし、知的好奇心を満足できるもの。</p> <p>例:シニア向けプログラミング教室や語学教室、シニアオーケストラ、外国人による料理教室)</p> <p>カフェを併設した本屋、図書館</p> <p>上記のような施設に集まった人向けに、コーヒーの飲めるベーカリー、カフェ、レストラン、ちょっと高級な惣菜や弁当が買える店などを配置する。</p>
34	<p>つくば 中心市街地まちづくりヴィジョン案</p> <p>計画としてメインテーマ「遊び人の大人を作る」</p> <p>テーマの解説 なぜ遊び人が必要なのか?</p> <p>街が面白くなる要素に豊かな文化度があります。大人が楽しそうに遊んでいる。その背中を子供が見ている。大人が楽しそうに祭りで遊んでいる。音楽祭などで楽しそうに音楽を聞いて一生懸命音楽を演奏している大人たちを子供が見ている。地域スポーツクラブなどで大人がチームスポーツに汗流しているランニングを楽しんでいる。</p> <p>地域に秩序正しい理路整然とした考えも重要です。子供向けのプログラム、教育、スポーツも大事です。しかし、それだけでは地域の艶、深み、文化的な成熟は大人</p>

がどれだけ楽しんで生活できるか、楽しめるプログラムや施設が存在するかが重要だと考えます。もっと重要な事は、それを楽しめるアクティブな好奇心の大人が存在するのかに掛かっています。

まちかど音楽市場(旧:つくば・まちかど音楽市場ネットワーク)は14年地域に大人が楽しめるプログラムを提供してきましたが、難しい現実がありました。食欲など見た目、味わえるなど欲を満たすプログラムとは違い、その場で消えて行く音、形として残らない音楽は感受性で楽しむ為になかなか難しい現実が直面していました。

感受性で楽しむ、脳が楽しむためには知らない物に対するアクティブな好奇心。知ってるから友達だからと保守的な好奇心では新しい文化が育ちにくく、そこから生まれるであろう経済的な動きも止まってしまいます。地域のクラブチームなど正に知ってる学校だから、子供が在籍している、卒業したから応援するでは、知らない選手の地域クラブチームは地域住民が前向きに知らないけど地域のクラブチームとして自分たちの街のチームとして応援できないと成立しません。音楽祭も同じです。知らない演奏家だから見ない聞かない、友達が出演してるから見たい聞きたいでは、音楽祭も小さな輪の中でしか成立しません。保守的な好奇心は地域経済も発展せず、文化も発展しません。

豊かな前向きな好奇心の大人が増えるプログラム、育てるイベントなど観客が少なく成立することが難しいので、行政との連携(補助金などに頼らない)が必要はあると思っています。何が難しいのか?何を応援したらいいのか?など共通の認識が重要かと思います。

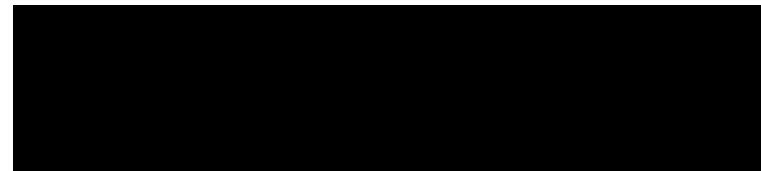
- 35
- ・ まだイメージの段階でコメントしづらい。もう少し、具体的な内容、達成度設定ができた段階でパブリックコメントを行ってほしい。
 - ・ 中心地区だけに対象としているのか、その周りも含めて考えていいのかわからない。
 - ・ どんなひとを対象としているのかが明らかでない。住民を増やしたいのか、外からの流入を増やしたいのか。それによって、必要なお店の数、種類などが異なると思う。
 - ・ 大学生を活かしたまちづくりを取り入れてほしい。学生がそのままつくばで仕事をするような流れを作りたい。
 - ・ 魅力と同時に最低限も定めておいた方がいい。安心、安全も考慮に入れてほしい。
 - ・ エネルギー、廃棄物等インフラについてもどのようなビジョンなのか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅のあり方についてのイメージがわからない。お店等と分けるのか、混在させるのか。 ・ 研究所で働いているエンジニアが、研究所で得た知識を元のイノベーションが起こせる街に。 ・ 研究者が、研究所に依存しなくてもイノベーションを起こせる街に。 ・ エンジニアが働きたい環境や興味が持てる仕事がある街に。 ・ 子どもが生き生き育つまちという文言をいれてほしい(具体的には駅前保育園など増やしてほしいので) ・ ペDESTリアンデッキをより活かす案を具体的にほしい。 ・ 中心市街地に長時間停められる駐車場がないとリラックスできない。 ・ 中心街以外にもあてはまるものがあり、対象が分かりにくい。 ・ ビジョンもいいけど、ビジョンができたときにマンションだらけになってないか。ビジョンといっしょにアクションも。 ・ 図書館の充実による子どもの勉強スペース及び子どもの居場所づくりに力を入れてほしい。 ・ 施設などのハードはそろっている。ソフトの充実にも力を入れてほしい。 ・ どれもこれも過ぎる。柱が一本ほしい。
36	<p>(全体)</p> <p>つくば市の中心市街地の定義を示してほしい。立地適正化計画の都市機能誘導区域が中心市街地なのか、もう少し広いエリアなのかなどをまず示してほしい。</p> <p>次に、つくば駅周辺における高層住宅(マンション)が建てられている中で、なぜいまヴィジョンをつくる必要があるのか。本来はマンション建設前に将来の中心市街地全体の土地利用や施設配置を含めてヴィジョンをつくるものだと考えている。現在都市再生機構跡地(ヨークベニマルの隣)でマンション建設を進めているが、逆に今回のヴィジョンと合致しないのではないか。</p> <p>(案について)</p> <p>つくば市の「顔」となるべき中心市街地が衰退し、研究学園駅周辺に都市機能や商業施設が集約しつつあるのは事実。また朝の交通広場には人が多いが、日中は人通りが少なく感じるのは事実である。よって、つくば駅周辺と研究学園駅周辺の違いが何か、研究学園駅周辺にはなく、つくば駅周辺にはあるといった機能分担が必要。また研究施設や大学の連携も必要と考える。</p> <p>ある事例では特に女性が定住することで、女性が主体となって活動している地域活性化していることもあるため、女性が活動しやすいようなないようも盛り込んでどうか。</p> <p>またつくば市は多彩な外国人が定住しているため、そういった方々に対しても配慮</p>

が必要ではないか。
最後に確かに中心市街地の活性化をすることは重要ではあるが、
特に観光地である筑波山，開発により新興住宅地ができてきた中根・金田台地区，
萱丸地区など，人を呼び寄せる材料があるので，新しくきた方もつくばは楽しい・
学べるといった感覚を持たせるようなビジョンが含まれているとよいと思う。

意見原文No.9
別紙資料

科学技術で
稼げる、遊べる、学べる
世界のTSUKUBA



本提案とまちづくりビジョン

科学技術で
稼げる

TSUKUBA

科学技術で
遊べる

TSUKUBA

中心市街地まちづくりビジョン (案)

(4) 3つのコンセプト

リラックス × 遊び心
Relax × Fun

魅力と驚きが散りばめられ、訪れたいまち

科学技術の恩恵 × 新たな価値の創発
Science Technology × Innovation

科学技術が日常に溶け込み、イノベーションが生まれるまち

ローカル × 持続可能性
Local × Sustainability

地域に根差した持続可能なまち

科学技術で
学べる

TSUKUBA

+ 国際交流(世界のTSUKUBA)

本提案のビジョン

科学技術で

稼げる

科学技術で

遊べる

科学技術で

学べる

世界のTSUKUBA

国際交流もできちゃう

つくばのSWOT分析

強み(Strength)

- ・多分野にまたがる実力派研究基盤（国立・民間）
- ・TIAなどの企業と研究をつなげる取り組み
- ・科学技術で遊ぶための施設や取り組み
- ・科学技術を学ぶための施設や取り組み
- ・国際交流の取り組み

弱み(Weakness)

- ・あらゆる場面で横のつながりが悪い。
つくばは、車がないと移動不便
移住者が多く、地域のつながり薄い



世界のTSUKUBA

国際交流もできちゃう

- ・多数の国立研究機関と大学を有し、国家プロジェクトとして都市計画された日本を代表する研究学園都市であること。

- ・科学技術で稼げるまちが、国内のつくば以外の地域となること。
(わざわざ、つくばでなくても。。。)

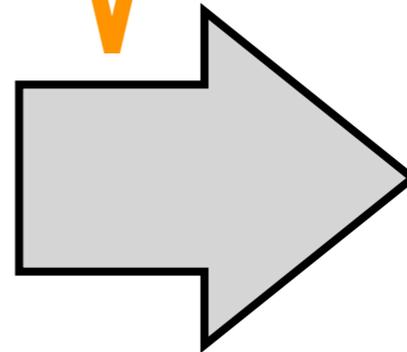
機会(Opportunities)

脅威(Threats)

本提案の戦略

研究学園都市の
「既存の利」を活用し
横のつながりを強化

わざわざ、つくばでなくても
(車ないと移動できないし)



科学技術で
稼げる

科学技術で
遊べる

科学技術で
学べる

世界のTSUKUBA

国際交流もできちゃう

つくば、ホンモノ！
(車ないと移動できないけど)

横のつながり強化案

1. SEIBUにつくばの研究集結

2. レジェンドと次世代の研究者交流の場

3. つくば市全域のちびっこハロウィン

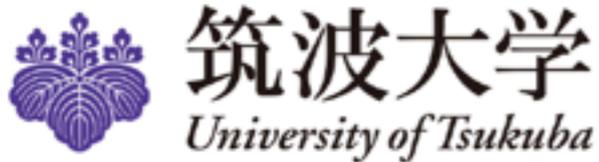


既存の利を活用し横のつながり強化案1

SEIBUに つくばの研究集結



SEIBU跡地につくばの研究を集積



ショッピング感覚でつくばの研究を
つくばの玄関口にて

研究集積拠点の役割



- 企業ニーズとのベストマッチング
- 分野を超えた協働研究
- 研究シーズから製品へを学べる空間
- 科学技術を遊ぶ施設
- 科学技術を柱とする国際協調



世界のTSUKUBA

国際交流もできちゃう

既存の利を活用し横のつながり強化案2

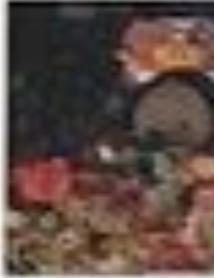
レジエントと次世代の 研究者交流の場



研究学園都市として歴史ある竹園

筑波研究学園都市建設からの歴史

- 1963年 「研究・学園都市の建設について」の閣議了解
- 1969年 研究学園都市開発事業の総合起工式を挙
- 1972年 現竹園三丁目地区の公務員宿舎に入居開始
- 1973年 筑波大学開学
- 1974年 竹園東小学校、竹園東中学校開校
- 1975年 竹園ショッピングセンターオープン
- 1977年 竹園東小学校で日本で初めてのコンピュータ教育開始
- 1979年 県立竹園高等学校開校
吾妻小学校開校
- 1980年 43の移転機関の移転完了（都市の概成）
- 1981年 第1回まつりつくば開催



まつり

つまり、竹園三丁目エリアは
レジェンド研究者
が、たくさんいるはず



レジェンドの叡智を次世代の研究者に

竹園高校 次世代研究者

竹園東中学校 次世代研究者

レジェンドと次世代の研究者交流の場
最適地

竹園東小学校
次世代研究者

竹園保育所

竹園東児童館

竹園交流センター

現役研究者の子育て
サポート基盤



レジェンド研究者

現役研究者の子育て
サポート基盤



世界のTSUKUBA

国際交流もできちゃう

レジェンドと次世代交流の場の役割

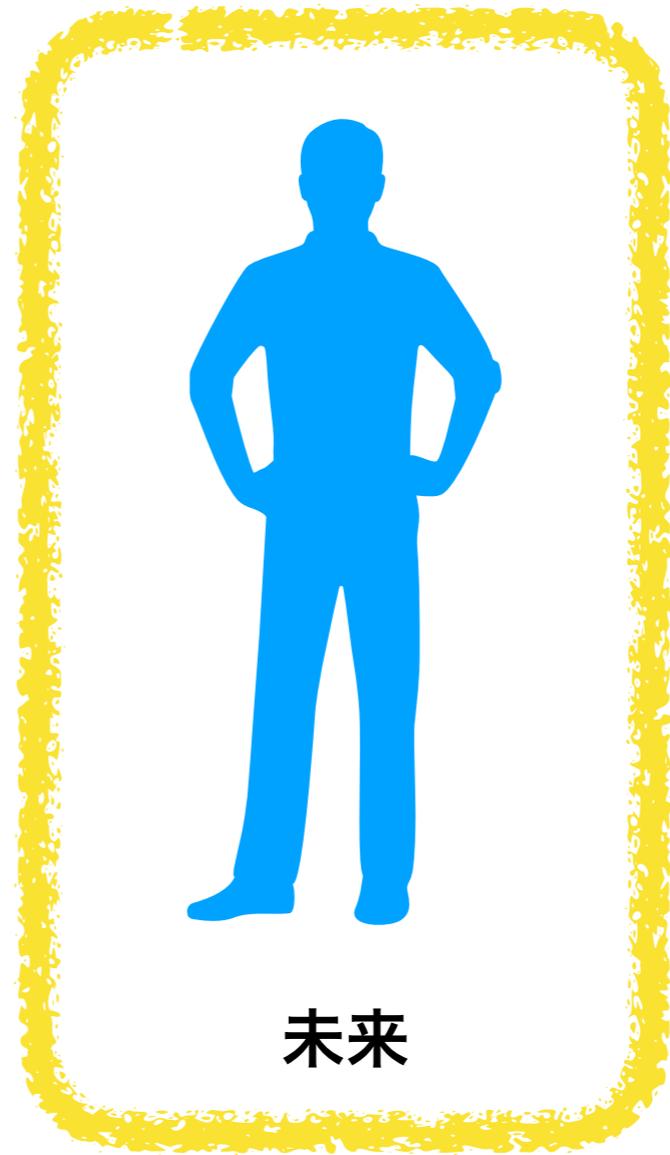
研究と教育を結びつける地域の基盤

- 地域と研究と教育の結びつけは、「実践的な教育への戦略」。この拠点は、社会や理科という学校の教科がどのように現実の社会と繋がっているか感覚として持てる場所である。自発的な学びを育み、課題解決力を養う。
- 地域を基盤とする事で、地区交流の機能を備える事ができ、地域での子育て、孫育て、研究者育ての世界に先駆けたモデル地区となる。
- 具体案としては、レジェンドから次世代という幅広い世代に合わせた図書館、プレゼンイベント、安全な実験室の機能を持たせ、多様な世代の交流を促しながら、研究者が育つ仕掛けを設ける。

教育は持続可能性の柱そのもの



今



未来

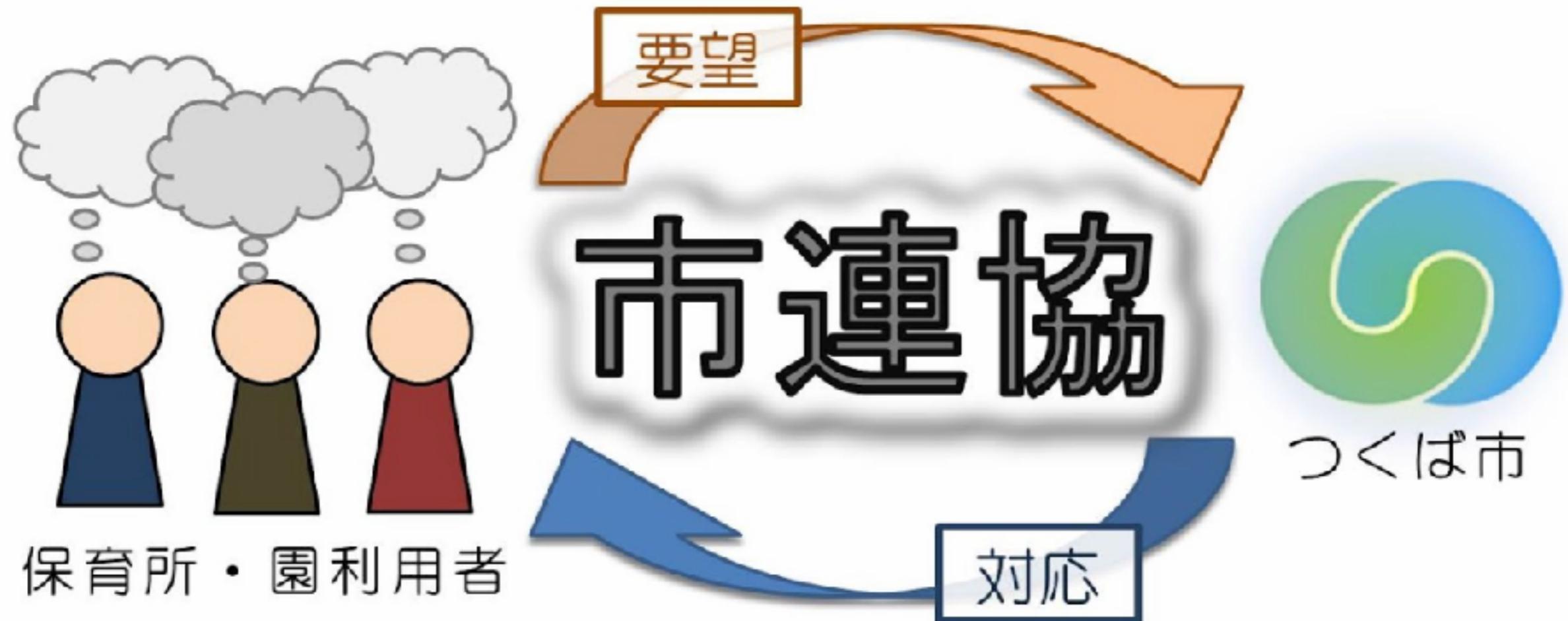
未来の研究者をつくばで育てましょう

既存の利を活用し横のつながり強化案3

つくば市全域の ちびっこハロウィン



つくばの保育所・園には市連協あり



パパもママも働く時代に合った保育へ

市連協（つくば市保育所・園父母の会連絡協議会）
つくば市内各保育所・園の保護者により構成、市へ要望などを伝える団体

昨年度のイベントはハロウィン！



昨年度の企画担当者の方々が、すっっっっごく奮闘してくださり、

**市連協会員の全ちびっこを対象とし、
国際交流を目的としたハロウィン開催！**

ちびっこハロウィン@SEIBU



市連協xつくば市の恒例行事へ

バスで行こう！

市とつくば市全域の保護者との意見交換をスムーズに
保育環境改善の効率化をはかる

・中心市街地へ足を運びやすくし、車がなくても身近な場所に ・国際交流を兼ねた集客イベント

科学技術で
稼げる

科学技術で
遊べる

科学技術で
学べる

世界のTSUKUBA

国際交流もできちゃう

横のつながりを強化で実現！